（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ＴＩＭＥ			
○保護者評価実施期間	2025年3月3日		～	2025年3月14日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	43	（回答者数）	35
○従業者評価実施期間	2025年3月3日		～	2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14	（回答者数）	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	■異年齢集団であるが、活動を通じて仲間関係が成立しており、分け隔てなく接することができる利用者が多い。 ■外部の人間や訪問者に対して、礼儀正しく接することができる上級生を見習い、下級生も同調する姿が見られる。	■気になる点も見られるが、そこを指摘するのではなく、良さやその子らしさを認める中で、利用者ひとり一人を認める姿勢を指導員に徹底する。。 ■３年間という成長の過程の中で、焦ることなく、出口を見据えた指導ステップを踏まえた指導を重点とする。	■利用者の良さや成長を共有できる指導員としての情報交流の場を積極的に増やしていく。
2	■利用者や保護者の期待や要望を確認しながら、個別指導計画の作成、見直しを積み上げている。	■小中学校の教育権権者の採用に限らず、利用者の年齢に近い世代や、利用者の施行に対応できる指導員の積極的な採用。 ■毎日提示に打ち合わせを実施し、利用者の前日の動向などの交流や今後の対応や指導の方向の確認を継続的に実施。	■より専門的な資格や経験豊かな指導員の積極的な採用。 ■研修や講習会への参加等による指導員の資質向上。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	■退所後の進路の選択に関わる情報収集や関係諸機関との連携。 ■進路選択に関わる実績と情報資料の充実。	■開所年数の浅さと職員の指導経験の短さ。	■緻密な情報の収集と関係機関との連携。 ■退職者や人脈を中心とした充実した情報の収集
2			
3			